

## 風炉 薄茶 酷暑の逆勝手

- \* 極暑の時分に、風炉を客から遠ざけておこなう点前。もともと古田織部の作意で、それを有楽流で取り入れたもの
- \* 本勝手や他の逆勝手と違い、風炉を向かって右、水指を向かって左に配する
- \* 濃茶の場合は茶入を水指前に飾り付けておく
- \* 濃茶の場合は、以下の薄茶の手順に濃茶の手順が加わる

### 《点前手順》

茶道口にて挨拶

左手に茶器、右手に茶碗を持って（本勝手と逆）入る

居前に茶器・茶碗と置いて、水指前に左手で茶器、右手で茶碗と移す  
(茶入の左端と茶碗の右端の中央が水指の中心通りになるように)

建水を取りに下がる  
(逆回りに回って下がる)

柄杓蓋置を仕組んだ建水を右手で持って入り定座に置く

(襖を閉めにいく)

右手で柄杓を取り左手に持たせて構え、右手で蓋置を取って右膝上あたりで正面を確認して敷板の右奥に置く

柄杓を扱って左手で柄杓を蓋置に引く  
(切留が釜の摘みの通りにくるように)

柄杓を引いたら客へ挨拶

右手で茶碗を取って居前に置く

左手で茶器を取って居前、茶碗の前に置く

帛紗を右手で取ってさばき、茶器を清める

茶器を水指の左前に置く（もと茶器があった場所あたり）

再度帛紗を捌き、茶杓を清める

茶杓を茶器の蓋に置く

茶筅を取り、綴じ目を見て、茶器の真横の右に置く

（もと茶碗があった場所あたり）

茶碗を少し手前に引く

右手に帛紗を移し、左手で柄杓を取って、帛紗を持っている右手で軽くあしらって構える

右手で、茶杓を拭いて逆折になっている帛紗をさっと草のかたちに戻す

帛紗で釜の蓋を先ず閉め、帛紗を打ち返して勝手付に向かって釜の蓋上を清める

帛紗をまた打ち返して釜の蓋をあけ、蓋置に置く

帛紗を右膝上で広げて腰に付ける

柄杓を持ち直し、湯を一杓汲んで茶碗に入れ、釜上に引き柄杓で置く

茶筅打ちを三回おこない、さっと茶筅を振る

茶碗を取って、逆廻しにさっと回す

右手で茶碗の湯を捨てる

茶碗を左手に持たせて茶巾を右手で取り、茶巾を茶碗のなかに入れる

茶巾をひろげ、茶碗の外・内を拭く

茶碗を置いて、茶巾を畳み直し、茶巾を釜蓋上に置く

手の湿りを取る

右手で茶杓、左手で茶器を取って、茶杓を握り込んで蓋をあけ、茶碗の右か斜め下に置く

適量の茶を汲み出し、茶器のなかを整える

茶碗のなかの茶をよくこなし、茶碗の縁で茶杓を打って茶杓についた茶を落とす

茶杓を握り込んで茶器の蓋をする

茶器を元のところに置いて、茶杓をそのうえに置く

水指の蓋を取って開ける

柄杓を水を汲む場合の行の取り方で取り、水指から水を一杓汲んで釜にさす

そのまま釜から湯を汲んで茶碗に適量入れる

残りの湯を釜に戻して、柄杓を切り柄杓で釜に掛ける

茶筅を取って茶を点て、茶筅を元のところに戻す

茶碗を左横に仮置きして振り向く

茶の点て具合を確認し、茶碗を客に向けて出す

茶碗が戻ったら客付に振り向き、茶碗を取り込んで茶碗内を確認

風炉に向かい、茶碗を居前に置く

柄杓を取り、一杓湯を汲んで、茶碗に入れる

柄杓を引き柄杓で釜に掛け、茶碗を取って、よく回して茶を落とす

湯を捨てて、茶碗を居前に置く

## 仕舞いの挨拶

柄杓を水を汲む場合の真で持ち直し、水を一杓汲んで茶碗に入れる

柄杓を置き（留め）柄杓で釜に掛ける

茶筅を取って茶碗に入れ、茶筅打ちを一度して茶筅をすすぐ

茶筅を元の通りに置き、茶碗を取って水を捨て、茶碗を居前に置く

茶巾を取って茶碗に仕込む

茶筅を取って、左手を添えて持ち直し、綴じ目を上にして茶碗に仕込む

帛紗を取って捌き、茶杓を清め、茶杓を茶碗にわたして掛け、帛紗を腰に納める

茶器を最初に茶碗と置き合せた位置に右手で移す（ほとんど位置は変わらない）

茶碗を右手で水指の右前、茶器の右に移す

柄杓を水を汲む場合の草で持ち直し、適宜に水を汲んで釜に入れ、湯返しをする

釜の前の縁に柄杓の合を掛けて持ち直す

柄杓を左手に持ち替えて構え、右手で釜の蓋をする

右手で蓋置を勝手付のきわ（建水の前方・茶碗の横筋に近いあたり）に移す

左手で柄杓の合を蓋置の上に置き、右手で建水を引いて、建水の縁に柄杓の柄を掛ける

水指の蓋を取り、水指の蓋を閉める

客からの拝見の所望を受ける

A：茶器を左手で取り、右手で持ち替えて左手にのせ、客付に振り向き、右手で居前に置く

右手で茶碗を点前座中央に移す

B：茶碗を右手で取って蓋置のすぐ左下あたりに置く

右手で茶器を取って左手にのせ、客付に振り向き、右手で居前に置く

帛紗を草に捌いて、茶器を清める

右手の帛紗と左手の茶器を取り替え、茶器を客を方に向けて出す

帛紗を袂に入れる

茶杓を客に向け、茶入の下座に置いて出す

(襖を開けにいく)

風炉前に戻って、柄杓を右手で取り、蓋置を左手で取って右手に持たせる

そのまま勝手付に居座って、左手で建水を持って立ち上がって水屋に下がる

再度出て、茶碗を取り込む

(運び水指であれば水指を取り込み)、茶道口を閉める

道具が戻ったら茶道口を開けて出る

茶器を取って居前に取り込み、茶杓を右手を持って左手に持たせ、右手で茶器を取る

客から一札があるので、道具を持ったままお辞儀をする

茶道口にて茶器・茶杓を置いて挨拶